

東武東上線大山駅付近立体化促進大会



東武東上線大山駅付近立体化促進協議会

平成29年7月28日

板橋区

●東武東上線大山駅付近の立体化に向けて

大山駅周辺地区は、東武東上線大山駅を中心に、活気とにぎわいのある商店街が広がり、病院・文化会館などの公共公益施設が多数立地するなど、利便性が高く非常に魅力のある地区です。

その一方で、地区内のすべての踏切は、ピーク時一時間あたりの遮断時間が40分以上のいわゆる「開かずの踏切」であり、これらの踏切は、交通渋滞の発生や踏切事故の危険性、市街地の分断など、まちの魅力低下の一因となっています。

連続立体交差事業は、多数の踏切を同時に除却することによって、これらの課題を一挙に解消するとともに、道路ネットワークが形成されることによる交通利便性や防災性の向上など、地域の活性化に資する非常に効果の高い事業です。

立体化の早期実現に向けて、区民、区議会、区が一体となった組織からなる「東武東上線大山駅付近立体化促進協議会」を結成し、関係機関に働きかけを行うとともに、駅周辺の整備を推進していきます。

活動方針

- 一、 区民、区議会、区が一体となって、国や東京都、鉄道事業者に対し、東武東上線大山駅付近の立体化の早期実現に向けた要請およびその他必要な活動を行う。
- 一、 東武東上線大山駅付近の立体化の促進や大山駅周辺の整備について、情報の発信など必要な広報活動を行う。
- 一、 本協議会の目的に合致するその他の必要な活動を行う。

東武東上線大山駅付近 踏切位置図



第18号踏切



第17号踏切



第15号踏切



第16号踏切



第13号踏切

【凡 例】	
	大山まちづくり総合計画の対象区域
	都市計画道路
	都市計画道路(事業中)
	商店街
	主要施設(病院、公共施設など)
○	重点踏切(*)
○	踏切
○	地下連絡通路

※重点踏切：踏切対策基本方針（平成16年6月／東京都）において、2025年度までに重点的に対策を実施・検討すべき踏切として抽出された踏切

●大山駅付近の立体化に関する経緯

平成 16 年 6 月	東京都が「踏切対策基本方針」を策定 鉄道立体化の検討対象区間に位置づけられる
平成 24 年 3 月	「大山駅周辺地区まちづくり協議会」が「大山駅周辺地区まちづくりマスタープラン」を策定し、区に提出
平成 26 年 3 月	板橋区が「大山まちづくり総合計画」を策定
平成 26 年 9 月	連続立体交差事業の事業候補区間に位置づけられる
平成 29 年 4 月	国から連続立体交差事業の着工準備採択を受ける

●大山駅の歴史

昭和 6 年 8 月	大山駅が開業
昭和 34 年	蒸気機関車の運転を廃止
昭和 38 年	一部 6 両運転開始
昭和 42 年	一部 8 両運転開始
昭和 46 年	大山駅前歩道橋の完成
昭和 51 年	ホームの延長の為、第 14 号踏切廃止・地下連絡通路開通、臨時改札口開設 一部準急の 10 両運転開始
昭和 54 年	普通列車を一部 10 両化
昭和 61 年	貨物営業を全廃
平成 21 年	エレベーター設置



航空写真（S40 頃）※



大山駅前歩道橋（S46）※

※板橋区公文書館所蔵



事務局 板橋区都市整備部都市計画課
〒173-8501 板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
TEL 03-3579-2548
t-koutsu@city.itabashi.tokyo.jp